



周陽公民館
TEL 28-6515

二時間ぐわたり 小川市長と語り

九月三日、周陽公民館和室で周陽地区の婦人二十四名が、初めて徳山市長・地区婦人対話集会を開催いたしました。

最初に創り出され、専断に手がけてこられた市長さんは「周南団地は入り合い世帯といつても子どもさんにとつては、ここがふるさとになる。みんなであれあいのある町づくりに努力していただきたい。市も協力いたします。」と非常に熱のこもったあいさつをされ、そして周陽一丁目の菅原田さんが周陽地区の特殊性について市長さんに説明されました。

教育施設の増設

- ◎ 周南団地は幼児が多いわりに公立の幼稚園が少い。
- ◎ すぐにも働かなければならぬけれども家庭の事情があつても子どもを預かつてくれる所がない。母子家庭優先にはならないものか
- ◎ 女子高校や女子短大を徳山中にせひ。
- ◎ 文化施設 活動の推進を。



市長「幼稚園の問題は検討します。中学校は秋月に作る計画があります。文化会館は一年先になりますが日本一のが出来ますのでしばらくお待ちを。」

悪臭公害には

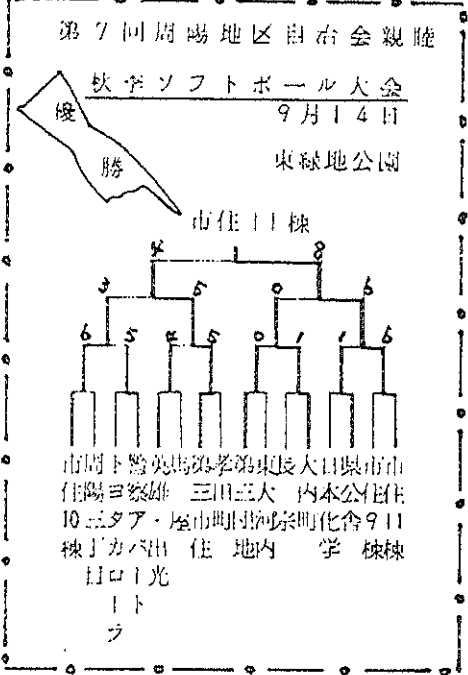
- ◎ 時々風向きによつて気分が悪くなる臭いがする。又夜になつて悪臭がする時もある。公害対策室からやかましく言つてほしい。
- ◎ 老人が一日中でも気楽に寄り合えるような場所がほしい。孝田町にあるが少し遠い、ミニハウスのなものでもよいのだが。
- ◎ 公園はあちこちにあるが遊具が一般的で子どもが利用しにくい。子どもに興味ある公園づくりを。

市長「公園といえばブランコとすべり台というセットでマンネリ化している点もある。考えてみましょう。」

青少年の非行

子どもの教育は家庭から、といわれるが公民館の家庭教育対象者に時間的問題がある。

- ◎ 小学三年生までは学校にカギツ子教室があるが四年生以上は放任である。老人とカギツ子子ども達が一緒に出来る何かいい方法はないだろうか。
- ◎ 市長「老人も自分にもつて技術・体験を出し合つて子ども達に教えるという方法もあると思つた。」



◎ コミュニティの婦人会をつくる場合、市の育成奨励・運営方法等について市長さんのお考えを。

市長「内容にもよりますが研究会をする為の補助等はします。」

◎ 女性の希望や苦情を市にお届けするにはどうしたらよいのですか。

市長「市役所一階の市民相談室へ申し出ていただければ各関係部課へ連絡し対応する方法をとつている。」

一つ一つの質問に誠意をこめて答弁され、市長自身のふるさとでもある徳山の文化発展の為に精進されていることを強く感じました。女性の意見や希望が直接行政に通じたことで政治に身近かになれた思いでした。

いくらずばらしい文化施設があつても住民のマナーが悪ければ価値は半減します。一人一人がふるさとづくりをめざし、心のふれあいのある幸せな町づくりをしましょう。

暴走族グループを 発見したらすぐ110番

- ◎ 青少年・婦女子への暴力行為
 - ◎ 公共施設の破壊
 - ◎ 底年齢層化
 - ◎ 高校生の非行集団化
- 周南団地を根拠にしている暴走族などの追放対策について、警察当局と地域の学校・自治会各団体・民生委員等の代表者が対策協議会を催しました。
- 暴走族は、無法行為、交通妨害にとどまらず凶器を使つて対立グループとケンカをしたり、又、関係のない市民をも巻きこえにする極めて危険なグループです。
- 暴走族の特徴
- ◎ 連合・集団による広域化
 - ◎ 暴力団とのつながり
 - ◎ 警察のきびしい取締り強化は言うまでもなく、学校・家庭・職場、地域ぐるみで非行、暴走行為を「しない」「させない」「許さない」運動を盛り上げ、世論の風潮づくりが大切である
 - ◎ 非行グループを発見したら未然に警察に通報する
 - ◎ 家庭でも子どもとの対話の機会をつくり、服装、行動夜の歩み等に注意する。

祝 産業祭 ふるさとまつり

周陽地区

(子ども会) みこし 参加!!

日 時 10月5日
12時半から

パレードコース
見玉公園 → 平和町 → 銀座通 → 徳山駅

根も葉もない
銀りよう草

あなたも
ふれあいの編集に
参加しませんか

周陽地区に住んでおられる方ならどなたでも、広報に興味のある人、話題提供、未来のイラストレーター。編集。大歓迎。勇気を出して公民館まで。